

# おもしろ算数 ②① (4～6年生)

(このページは、直接入力できません。そのまま見るか、いんさつしてつけてね !! )

小学校4～6年生のみなさん、こんにちは。  
おもしろ算数②①では、「一筆書き」のお話をします。では、はじめます。



## 【算数博士の話】

### 【ケーニスベルクの7つの橋】

18世紀の初め頃に、プロイセン王国の東部、東プロイセンの首都であるケーニスベルクという大きな町がありました。この町の中央には、プレーゲル川という大きな川が流れており、7つの橋が架けられていました。

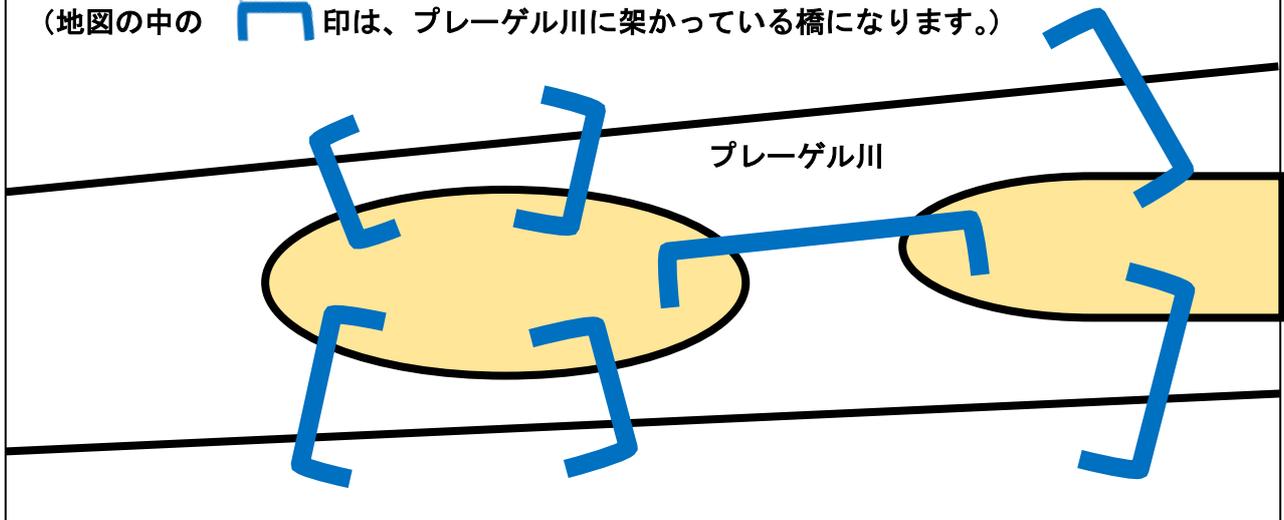
あるとき、町の人が次のように言いました。

「このプレーゲル川に架かっている7つの橋を2度通らずに、全て渡って、元の所に帰ることができるか。ただし、どこから出発してもよい。」

町の人が言ったことは、できるでしょうか。

ケーニスベルクの町の概要を地図にすると、おおよそ下の図のようになります。

(地図の中の  印は、プレーゲル川に架かっている橋になります。)

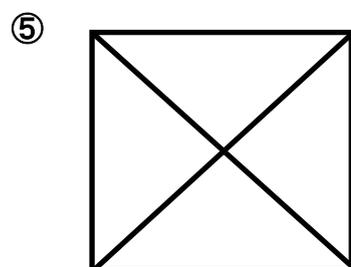
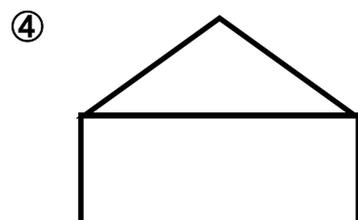
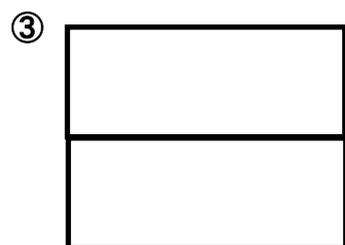
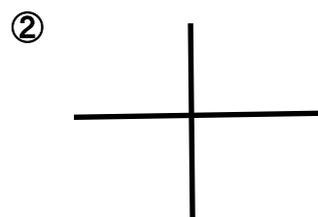
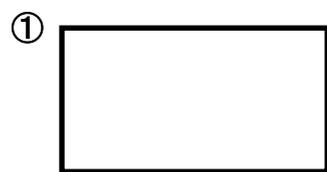


## 【あなたの考え】

答え. 7つの橋を2度通らずに、全て渡って、元の所に帰ってくることはできない。

では、次の新しい問題について、一筆書きができるかどうか考えてみてください。

【新しい一筆書きの問題】



※一筆書きができるときの、「こつ」や「きまり」が発見できたらすばらしことです。  
4～6年生で、一筆書きのしくみがわかれば、もうあなたは算数博士です。

答え. 一筆書きが出来るのは ①、③、④